

# 村山地域の医療体制

平成 27 年 11 月 19 日

山形県村山総合支庁

## 村山地域の医療体制

### 【医療施設数】

- 平成27年7月1日現在、一般病床または療養病床を有する医療施設数は、病院25施設、有床診療所31施設、計56施設となっており、病床数は、病院5,625床、診療所334床の計5,959床（一般：5,071床、療養：888床）となっている。

◆一般病床または療養病床を有する医療施設数 (施設)

		村山地域			
		東南村山	西村山	北村山	
病院	一般病床のみ	16	12	3	1
	療養病床のみ	2	0	0	2
	一般及び療養病床	7	6	1	0
	計	25	18	4	3
診療所	一般病床のみ	28	16	5	7
	療養病床のみ	0	0	0	0
	一般及び療養病床	3	2	1	0
	計	31	18	6	7

◆一般病床数・療養病床数 (床)

		村山地域			
		東南村山	西村山	北村山	
病院	一般病床	4,782	4,045	377	360
	療養病床	843	464	31	348
診療所	一般病床	289	148	73	68
	療養病床	45	33	12	0
一般病床 計		5,071	4,193	450	428
療養病床 計		888	497	43	348

### 【医療従事者数】

- 平成24年12月31日現在の人口10万対医師数(282.5人)は、県値(225.5人)、全国値(237.8人)を上回っている。
- 人口10万対歯科医師数(65.8人)、同薬剤師数(193.1人)、同看護師数(1327.8人)も、県値(59.8人、167.7人、897.9人)、全国平均(80.4人、219.6人、796.6人)を上回っている。

◆医療従事者数（実数及び人口 10 万対）

（人）

	村山地域				（参考）県
	東南村山	西村山	北村山		
医師	1,579	1,343	130	106	2,598
人口 10 万対	282.5	357.3	154.9	107.1	225.5
歯科医師	368	283	42	43	689
人口 10 万対	65.8	75.3	50.0	43.4	59.8
薬剤師	1,079	847	112	120	1,932
人口 10 万対	193.1	225.3	133.4	121.2	167.7
看護師	5,768	4,736	575	457	10,344
人口 10 万対	1032.1	1,260.0	685.0	461.5	897.9

※医師・歯科医師・薬剤師数は、平成 24 年医師・歯科医師・薬剤師調査。

※看護師数は、平成 24 年業務従事者届

※人口は、『平成 24 年山形県の人口と世帯数—山形県社会的移動人口調査結果報告書—』

### 【地域の医療提供体制】

人口構造及び入院患者の推計から、悪性新生物、脳血管疾患の入院患者数が多い状況にあるなか、後期高齢者の増加に伴い、肺炎や骨折による入院患者が増加傾向にある。

#### (1) 救急医療

- 平成 24 年の救急搬送件数は、18,930 件、覚知から収容するまでの平均は 36.6 分となっている。
- DPC 病院における救急患者総数は、平成 23 年 5,832 人、24 年 5,929 人、25 年 6,368 人と年々増加傾向にある。
- 初期救急医療は主に山形市休日夜間診療所、村山市休日診療所、東根市休日診療所、在宅当番医、二次救急医療は救急告示病院が連携し提供している。  
（救急告示医療機関 18 施設）→ 山形地区 13 施設、西村山地区 4 施設、北村山地区 1 施設
- 県立河北病院、寒河江市立病院、西川町立病院、朝日町立病院の 4 病院において、休日（日中、夜間）の輪番制を実施している。
- 重篤な患者に対する救急医療は、三次救急医療機関の県立救命救急センター、山形大学医学部附属病院が担っている。
- 県立河北病院では、平日の夜間救急診療に寒河江市西村山郡医師会の支援を受け、急患室において、診療所医師が初期救急患者の診療を行っている。

◆救急医療体制

（施設）

	村山地域			
	東南村山	西村山	北村山	
三次救急医療機関	2	2	0	0
救急告示病院	18	13	4	1

## (2) 周産期医療

- 分娩を扱う医療機関数は、平成 25 年に東北中央病院、県立河北病院で分娩の取扱いをやめたため、平成 27 年 10 月末現在、7 病院 230 床、7 診療所 103 床、計 14 施設 333 床となっている。
- 平成 25 年の分娩数は 4,791 件。常勤産科医師は 54 名となっており、1 人当たり分娩数は 87.1 件と、県平均 111 件を下回っている。
- 三次周産期医療機関として、総合周産期母子医療センターの県立中央病院、地域周産期母子医療センターの山形大学医学部附属病院、山形済生病院は、NICU 等を備えたリスクの高い妊娠に対する医療と、高度な新生児医療に対応している。
- また、山形市立病院済生館は、二次周産期医療機関としての役割を担っている。

◆分娩取扱医療機関数

(施設)

		村山地域			(参考) 県
		東南村山	西村山	北村山	
三次周産期 医療機関	総合周産期母子医療センター	1	0	0	1
	地域周産期母子医療センター	2	0	0	3
二次周産期医療機関		1	0	0	5
上記以外の分娩取扱医療機関		10	2	2	18
計		14	2	2	27

## (3) 小児医療

- 地域における自己完結率は 96.1%と高くなっている。
- 「平成 24 年医師・歯科医師・薬剤師調査 (H24.12 時点調査)」では、小児科医 83 人となっており、15 歳未満人口 10 万対の小児科医は 116.1 人(県全体 97.4 人の 119.2%)で、県内で最も多い状況にある。
- 小児救急医療については、夜間・休日における初期救急医療は、山形市休日夜間診療所が担い、二次救急医療は、山形大学医学部附属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館、北村山公立病院のオンコール体制を持つ救急告示病院等が担っている。

◆小児科医師数(実数及び 15 歳未満人口 10 万対)

(人)

	村山地域			(参考) 県
	東南村山	西村山	北村山	
小児科医数	83	3	5	141
15 歳未満人口 10 万対	116.1	28.8	39.2	97.4

※小児科医師数は、平成 24 年医師・歯科医師・薬剤師調査

※15 歳未満人口は、『平成 24 年山形県の人口と世帯数—山形県社会的移動人口調査結果報告書—』

## (4) がん

- DPC 病院におけるがん患者総数は、平成 23 年 10,482 人、24 年 10,538 人、25 年 10,333 人、がん手術患者数は、平成 23 年 3,880 人、24 年 3,920 人、25 年 4,073 人となっている。
- 地域における自己完結率は 99.0%と高い。部位別にみても胃がん、大

腸がん、直腸がん、肺がん、乳がん、肝がんとも 90%を超えている。  
また、治療法別でも、化学療法（入院・外来）、放射線治療（入院・外来）とも 90%を超えている。

- 県がん診療連携拠点病院として県立中央病院、地域がん診療連携拠点病院として山形大学医学部附属病院、山形市立病院済生館を中心に、地域の病院と連携しながら、標準的ながん診療や在宅療養支援を行っている。
- なお、緩和ケア病床は、県立中央病院に 15 床、県立河北病院に 20 床設置されている。

◆がんの医療体制を構築する病院 (施設)

	村山地域			
		東南村山	西村山	
治療（がん診療機能）	15	10	4	1
療養支援（在宅療養支援機能）	11	7	3	1

※求められる医療機能の例

- (例) 治療・・・血液検査、画像検査及び病理検査等の、診断・治療に必要な検査が実施可能であること 等  
療養支援・・・疼痛等に対する緩和ケアが実施かのうであること 等

## (5) 脳卒中

- DPC病院における神経系疾患の患者総数は、平成23年3,415人、24年3,474人、25年3,372人と横ばいであり、その救急患者数も、平成23年1,204人、24年1,261人、25年1,205人となっている。
- 地域における自己完結率は98.7%と高い。
- 来院後1時間以内に専門的治療が開始できる救急医療の機能を山形大学医学部附属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館、山形済生病院、篠田総合病院、北村山公立病院、山形徳洲会病院が担い、地域の病院において、身体機能を回復させるリハビリテーションや日常生活への復帰及び維持のためのリハビリテーションを行う回復期・維持期の機能を担っている。

◆脳卒中の医療体制を構築する病院 (施設)

	村山地域			
		東南村山	西村山	
急性期（救急医療の機能）	7	6	0	1
回復期（身体機能を回復させる リハビリテーションを実施する機能）	18	12	4	2
維持期（日常生活への復帰及び維持の ためのリハビリテーションを実施する機能）	19	12	4	3

※各期に求められる医療機能の例

- (例) 急性期・・・血液検査や画像検査等の必要な検査が24時間実施可能であること 等  
回復期・・・再発予防の治療、基礎疾患・危険因子の管理、及び抑うつ状態や認知症などの脳卒中後の様々な合併症への対応が可能であること 等

維持期・・・生活機能の維持及び向上のためのリハビリテーションが実施可能であること 等

## (6) 心筋梗塞

- DPC病院における循環器系疾患の患者総数は、平成23年4,821人、24年4,818人、25年5,006人、循環器系疾患の救急患者数は、平成23年842人、24年869人、25年1,025人と増加傾向にある。
- 地域における自己完結率は99.4%と自己完結している。
- 来院後30分以内に専門的治療が開始できる救急医療の機能を山形大学医学部附属病院、県立中央病院、山形市立病院済生館、山形済生病院、篠田総合病院、北村山公立病院、東北中央病院、小白川至誠堂病院が担い、地域の病院においては、身体機能を回復させる心臓リハビリテーションや再発予防を行う回復期・再発予防の機能を担っている。

◆心筋梗塞の医療体制を構築する病院

(施設)

	村山地域			
		東南村山	西村山	北村山
急性期（救急医療の機能）	8	7	0	1
回復期（身体機能を回復させる心臓リハビリテーションを実施する機能）	15	10	4	1
再発予防（再発予防の機能）	14	9	3	2

※各期に求められる医療機能の例

(例) 急性期・・・血液検査、血液生化学検査、心臓超音波検査、X線検査、CT検査、心臓カテーテル検査、器械的補助循環装置等必要な検査及び処置が24時間対応可能であること 等

回復期・・・再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、抑うつ状態等の対応が可能であること 等

再発予防・・・在宅でのリハビリ、再発予防のための管理を医療機関と訪問看護ステーション・薬局が連携し実施できること 等

## (7) 血液透析

- 血液透析を扱う医療機関は、平成27年10月末現在20施設で、うち夜間血液透析を行っている施設は4施設となっている。
- 透析患者数は年々増加傾向にあり、平成26年1,231人、人工透析装置台数は535台となっており、人工透析装置台数1台当たりの透析患者数は2.30人となっている。

◆血液透析を実施する医療機関

(施設)

	村山地域			
		東南村山	西村山	北村山
血液透析	20	12	5	3
(夜間透析)	4	4	0	0

## 【地域医療連携】

- 平成26年10月に、地域の基幹病院等が保有する検査画像等の診療情報を医療機関同士が閲覧できる医療情報ネットワーク（べにばなネット）

が稼働し、病病連携、病診連携、患者の紹介・逆紹介の推進に寄与している。〔平成27年10月末現在 情報開示病院9施設、参照医療機関50施設〕

- がん（肺、胃、肝臓、大腸、乳）、脳卒中、大腿骨頸部骨折、慢性腎臓病、糖尿病、狭心症、急性心筋梗塞について、地域連携クリティカルパスが運用されている。

◆べにばなネット利用登録医療機関数

(施設)

	村山地域			村山地域 以外	
	東南村山	西村山	北村山		
情報開示病院	9	6	2	1	0
情報参照医療機関	50	39	6	3	2